

# 九州

## 「第1回みんなのセミナー」開催 失敗しない高齢者施設えらび

萩原 博 (KTS)

コロナ禍も落ち着き、民放クラブとしての活動も再開できる状況となった。さらに、会員規約の改定など会員増を図るための、より魅力的なクラブ活動が求められることになる中、鹿児島地区は設立して6年目のクラブとして、会員や将来の会員に役立つコンテンツを探った。その結果、会長や理事長など役員間で話し合いを進め、セミナーや山歩き同好会、写真同好会、パークゴルフ同好会など、今年度の活動計画を提案し、理事会・総会で承認された。

特にセミナーのテーマについては理事会などで「老人ホーム」「墓じまい」「相続」「年金」など、いくつかの案が出された。その中で、老人ホーム等の高齢者施設について、講師としての候補者が具体的に挙がっていたこともあり、開催に向けて直ぐに準備に着手した。

セミナー名称は、「民放クラブにかけて「みんなのセミナー」とし、第1回のテーマは「失敗しない高

齢者施設えらび」とした。

開催日は7月5日、金曜日の午前10時から90分間に決まり、局や代理店、制作プロダクション等を役員で手分けして案内に廻った。



第1回のセミナーの様子。右はわかりやすいと好評だった講師の女性

当日は14名が参加。施設の紹介・斡旋を幅広く行っている女性相談員を講師に迎え、分かりやすく、参加者からの途中の質問にもその都度回答するなど、活発なセミナーとなった。終了後のアンケートも、参加者全員が「非常に満足」との評価だった。

今回は10月頃を予定している。多くの会員に役立つコンテンツを提供していければと思う。

## 社会貢献に励む

朗読奉仕グループ

林 欣子(TNC)

今年で設立38年になる九州民放クラブ福岡ですが、その中の朗読奉仕グループは、34年間、社会貢献活動に励んできました。

スタート時は、熊本、大分、宮崎の各局元アナも集い賑やかでした。朗読の録音テープ製作と同時に福岡市ボランティアセンターの音訳ボラ養成講座を、原和男(FBS)、岩山淑子(KBC)、田中仁美(OHK)、林欣子と、20数年続けて来ました。

「朗読ボランティアを育てるのは立派な社会貢献だ」との、大分クラブの千綾奉文元アナの言葉に後押しされ、養成講座修了生を協力会員として、今や32名。デジタルCDや、挿し絵の説明を入れた音楽CDを、九州・沖縄各県立盲学校、福岡・北九州市立点字図書館などに寄贈するメンバーとして大活躍です。昨年入会のTNC元アナ、木邑

恭子、大藪章子の朗読講座もスムーズです。



初録音中の木邑恭子元アナ

6月初旬、2人は協力会員サポートのもと、「ふくふくプラザ」録音室で初録音。



デビュー戦の大藪章子元アナ(中央)と2人のサポーター

7月10日発送のデジタルCD 27枚・音楽CD 59枚、合計86枚のうち、2人は計16枚でデビューしました。これで後継者へのバトンタッチがスムーズに行くかと期待しています。